

## 予算要望で市長交渉を行いました！

毎年、この時期は次年度予算編成にあたり、市長交渉を行います。今年も、医療・福祉や教育・子育てなど30項目に渡って要望書を提出し、懇談を行いました。特に今年は、自公安倍政権のもと、消費税の増税を進める一方、生活保護費の切り下げ、年金支給額の削減、高齢者医療負担増など次々と悪政を打ち出し、市民生活を脅かしています。

こうしたなかで、高齢者の医療負担、70才～74才の医療費窓口負担を1割から2割への引き上げの動きがあり、「垣老」制度の改悪にも連動すると、心配されているところです。この件について、市長に垣老制度の存続を求めました。市長は「厚労省は2割にしているが、首相はまだ明らかにしていない。今までも凍結を解除すると言いながら土壇場で撤回している。国の動向をみて検討する。垣老を残したいという考えには変わりないが・・・」とっており、まずは国の医療改悪の動きをストップさせる運動が大切になってきています。



市長交渉では、弥生大集落 荒尾南遺跡の展示会の開催をお願いしました。

## 荒尾南遺跡 特別展開催中 岐阜県博物館

多くの大垣市民が発掘調査に関わってきた荒尾南遺跡の特別展が、岐阜県博物館で開催中です。この荒尾南遺跡は弥生時代から古墳時代にかけての遺跡で、約300基の墓、約600軒の建物跡、幅約10m長さ450m以上の人工の大溝などが見つかり、この時代の遺跡としては岐阜県最大規模であることが明らかになっています。

9月23日、岐阜県博物館で「荒尾南住民達の思いを読み解く」と題して特別展記念講演会があり、大変面白いお話を聞かせてもらいました。是非大垣市民にも「荒尾南遺跡が語るモノと心」を知ってほしいという思いにかられました。県博物館は関市の百年公園内にあり、大垣市民にとっては遠い場所です。発掘調査には多くの市民が関わりました。是非大垣市でも特別展を開催してもらいたいものです。



## 荒尾南遺跡展大垣市でも開催を

昼飯大塚古墳が復元され、更に荒尾南遺跡が常設されるならば、弥生時代から古墳時代につながって、この地域の人々の暮らしぶりや精神世界が見えてくるのではないでしょうか。

## 総合防災訓練（興文地区） 図上訓練で我がまちの課題明らかに

9月29日、興文地区の総合防災訓練が興文中学校で行われ参加しました。塚田防災士（防災ネットワーク）の指導のもと、それぞれの地域に分かれ、災害図上訓練の手法で行いました。震度6強の地震が発生した場合を想定し、一時避難場所、指定避難場所までの避難経路等を地図上に書き込み、また地域にはどのような危険箇所があるか、災害時支援を必要とする人がいるかなど出し合い、一方、災害時活用できる施設や人材はあるか等、地図上に書き込みました。更に、地震が起きたとき、まず私たちはどのような動き方をするか等出し合い、最期にいくつかのグループから、我がまちで問題となる点について発表されました。

### 化学工場に隣接した避難所で大丈夫？

その中で明らかになったことは、「この地域は化学工場が隣接しているが、震災時化学物質が混じって毒物が発生するなど具体的に検討されているのか」といった疑問が出され、また「指定避難場所がサイトピアセンターとなっているが化学工場と隣接しており、避難場所として適切か」といった疑問も出されました。

その他、高齢化が進んでいること、家屋が密集していること、避難場所なすべき地区センターが老朽化しているなど、興文地区における震災時の課題が明らかになりました。

### 議会報告会

日時：11月4日（月・祝）13：00～15：00  
場所：大垣市情報工房5F（セミナーホール）  
テーマ：「議会改革と9月議会」

笹田議員は、国の医療・介護政策と市民病院について、市民が安心して医療・介護が受けられる地域にするため何が課題かを報告します。

### グリーン料金裁判

日時：11月8日（金）10：00～  
場所：岐阜地方裁判所 302号法廷  
是非傍聴をお願いします。

## 自由法曹団総会企画シンポジウム 3・11震災復興の現状と課題

10月19日、岩手県にて自由法曹団の総会があり参加しました。3・11大震災から2年7ヶ月を経た被災地の現状はどうなっているのか、復興の現状と課題について学びました。シンポジウムは大槌町の碓川町長の基調報告やパネリストの発言から、住まい、生業、医療福祉等の様々な角度から現状が明らかにされました。住宅再建が進まず仮設入居率は、大槌町96.4%、岩手県全体では87.75%と高く、人口流出も進んでいます。人間らしい生活を取り戻す生活再建の見通しが見えてこないといった現状が出されています。

### 自治体職員に疲労蓄積が

また、復興にあたる自治体職員の不足を深刻で、現在も必要数の約半数は、全国の自治体から職員が派遣されています。職員の過重労働の実態とメンタル面での健康状態に大きな問題があることが明らかになっており、大船渡市の保健室では継続的に職員のアンケート調査を行なって、個別面接など、対策に当たっていました。

自治体職員不足の問題は、津波により沢山の職員が犠牲になったことと、平成の大合併により職員数が削減されていたことも大きな要因で、復興が遅れる原因になっているといわれています。

### 逆境から発想する町：大槌町

0から出発した大槌町の碓川町長の報告は、希望を与え、全国のまちづくりのモデルになるのではと感じさせる内容でした。復興計画は、町民参加のもと作り上げ、「単に震災前の街に戻すだけの復興ではなく、自ら知恵を絞り、また多方面から知恵を集めた創造的な復興を」と意気たかく町の再生に取り組んでおられました。まだまだ課題は沢山あると思いますが、一度訪問したいと強く感じました。



総会は岩手県の八幡平市安比高原で行われました。生憎の小雨続きのお天気で、前森山からの大パノラマを眺めることなく帰ってきました。

### トヨ子通信読者のみなさま

是非、共産党を知ってください。

政治の真実がわかる、「しんぶん赤旗」をお読みください。



お申し込み 日本共産党西濃地区委員会

電話 78-6865 F A X 73-8572